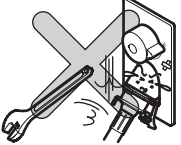
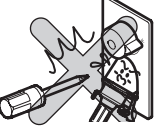
TOTO

洗濯機用壁付き給水栓 TWA11型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注意

禁止

給湯温度は85℃より高温で使用しない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。なお、洗濯機に給湯する場合は洗濯機の上限温度にご注意ください。

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

分解禁止

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しない

故障や水漏れの原因になります。

必ず実行

水抜きする場合は必ず手を保護したうえで行う

給湯用としてご使用の場合、たまっている湯が出て、やけどをするおそれがあります。

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に実施する

部品が破損して水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

2 仕様

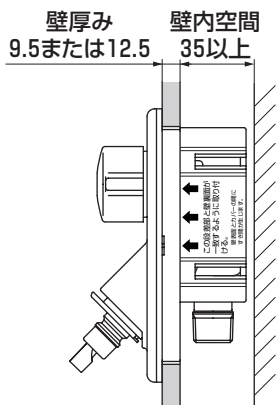
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下 ※洗濯機に給湯する場合は、洗濯機の上限温度にご注意ください。
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅洗濯機用

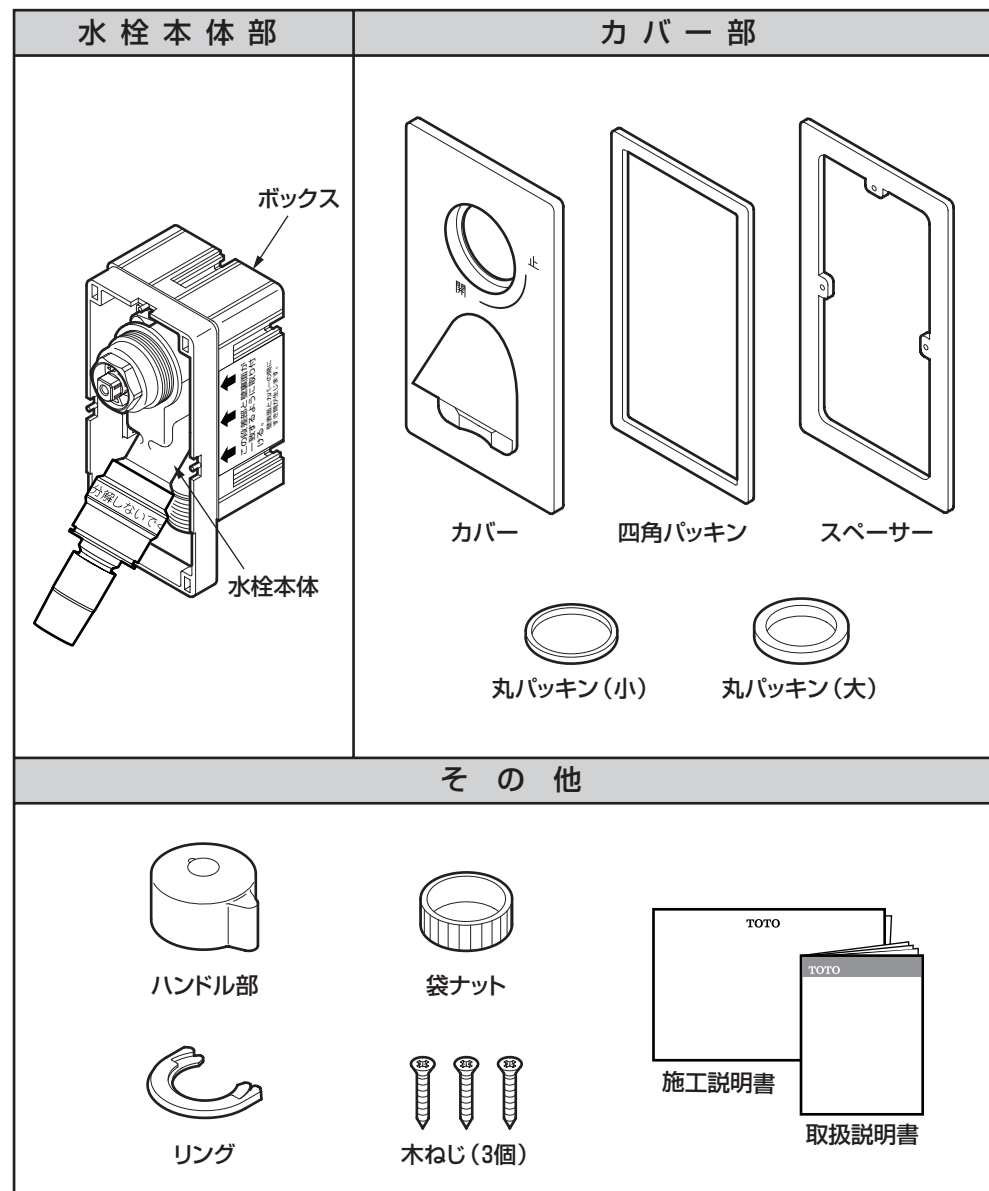
3 取り付け前に

●本商品は壁厚み9.5mmまたは12.5mm以外のボード（壁）には取り付けできません。壁厚みを確認のうえ、施工してください。

●壁内空間は35mm以上確保できるか確認のうえ、施工してください。35mm未満の壁内空間では取り付けできません。

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

5 完成図

60$^{+5}_{0}$（取付穴寸法）

スペーサー取り外し時12.5

W.L

80

9.5

35

スペーサー

止

開

145

40

87.5

84

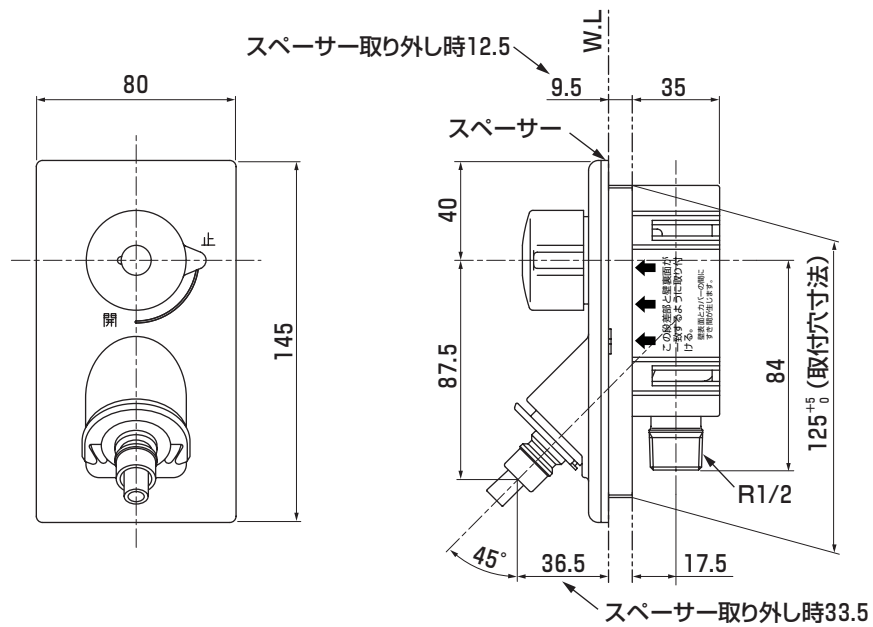
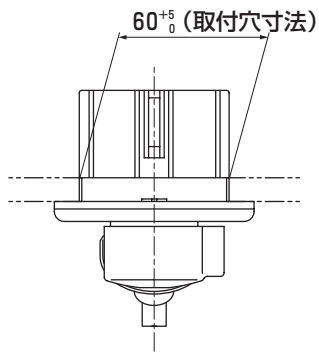
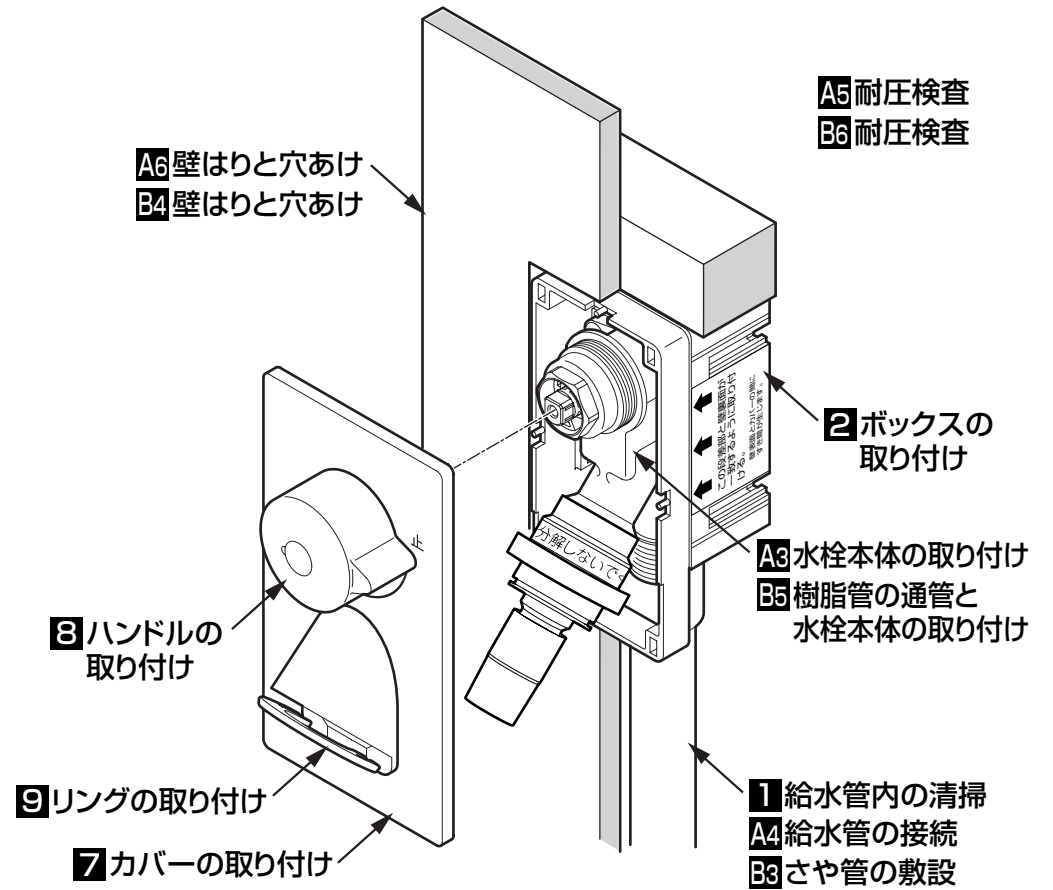
125$^{+5}_{0}$（取付穴寸法）

R1/2

45°

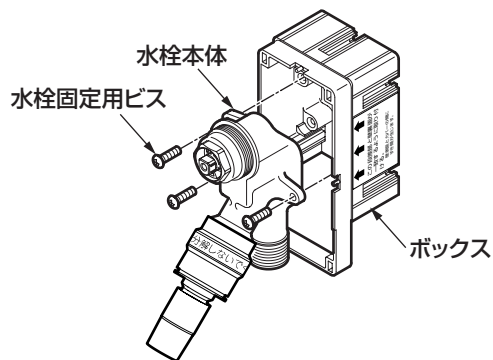
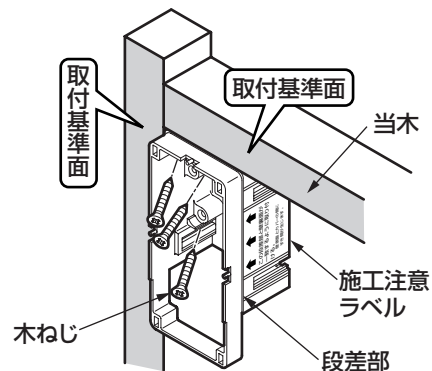
36.5

17.5

スペーサー取り外し時33.5

6-1 施工手順

1 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

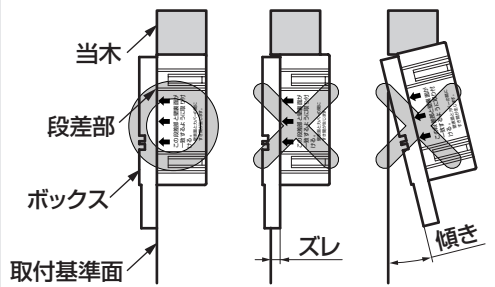
2 ボックスの取り付け

①水栓固定用ビス（3カ所）をドライバーで外し、ボックスから水栓本体を外す。

②取り付け高さを考慮して、当木などを設け、ボックスの側面2カ所、上面1カ所を木ねじで取り付ける。

注 意

●**施工注意ラベルの表示にしたがってボックスの段差部と取付基準面が一致するように取り付けてください。ズレや傾きがある場合は、木ねじをゆるめ、再度位置を調節して±1mm以内に取り付け直してください。**
ズレや傾きがあると、ハンドルとカバーが干渉したり、リングが取り付けられなくなるおそれがあります。

●**当木には35mm×35mm以上の間柱材などを用いてください。**

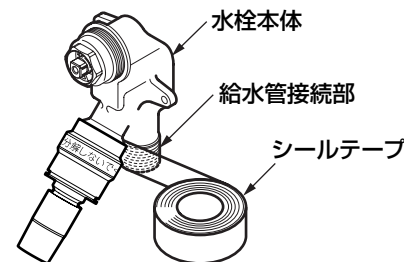
●**必ずボックスの二面を当木などに取り付けてください。**
一面のみの取り付けですと、ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。

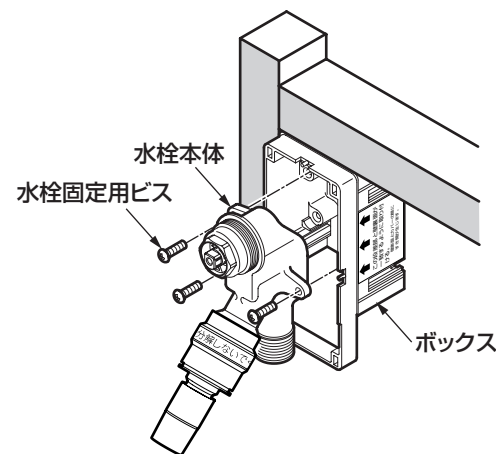
●**ボックスはガタツキが出ないように強固に取り付けてください。**
ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。

※以後の工程は給水管の種類により異なりますのでご注意ください。

給水管の種類	参照工程
『従来給水管（鋼管・塩ビ管など）』『被覆樹脂管』	6-2 ー A3 へお進みください
『さや管』（内部樹脂管の更新性あり）	6-4 ー B3 へお進みください

A『従来給水管（鋼管・塩ビ管など）』『被覆樹脂管』の場合

A3 水栓本体の取り付け

①水栓本体の給水管接続部にシールテープを巻く。

②水栓本体をボックスに収納し、水栓固定用ビス（3本）を締め付けて、水栓本体をボックスに取り付ける。

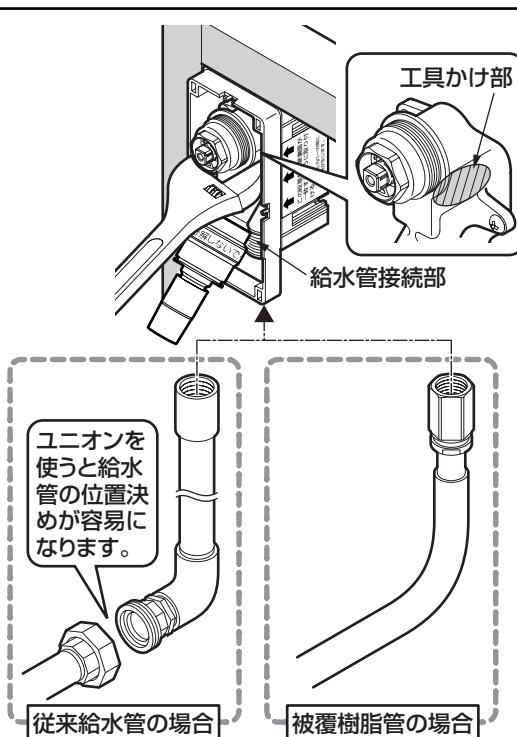
注 意

水栓本体はガタツキがないように強固に取り付けてください。
ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。

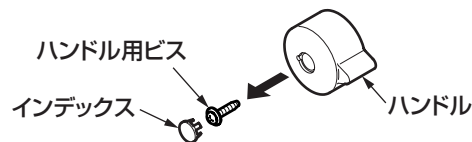
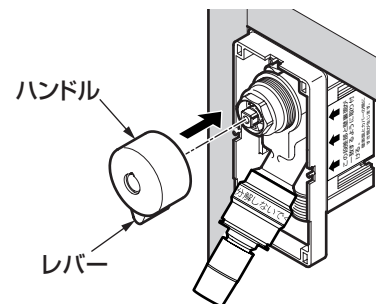
裏面へつづく

A4 給水管の接続

水栓本体の工具かけ部にモンキーレンチなどをかけ、ボックスに力がかからないように給水管をねじ込む。

注 意

- **給水管を水栓本体にねじ込む際は、モンキーレンチなどで水栓本体を支えながらねじ込んでください。**
  ボックス破損の原因になります。
- **位置決めが不完全な状態の従来給水管を無理にねじ込んで接続しないでください。**
  水栓本体に無理な力がかかり、破損が生じ、水漏れの原因になります。

A5 耐圧検査

①ハンドルの裏側からハンドル用ビスを押して、ハンドルからインデックス・ハンドル用ビスを取り外す。

②ハンドルのレバーを下向きにしてハンドルを差し込む。
※ハンドルのレバーが下向きのときが「開」の状態です。バルブは「開」の状態で工場出荷されています。

③養生キャップを外し、緊急止水弁を押して、給水管にたまったエアーを抜く。

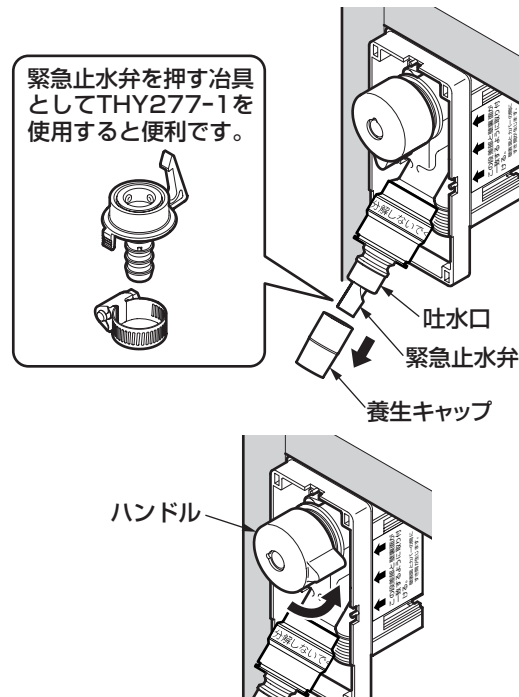
④ハンドルのレバーを反時計回りに回し、耐圧検査を実施する。

注 意

耐圧検査は壁をはる前に必ず実施してください。
壁をはったあと、耐圧検査で水漏れが発生した場合、壁をはがして接続し直さなければならなくなります。

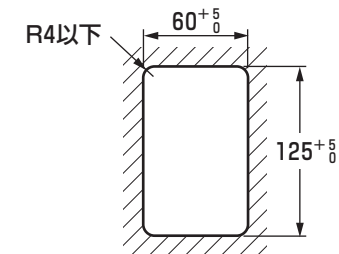
⑤ハンドルを外し、養生キャップを差し込む。

注 意

養生キャップは壁をはったあとの作業再開まで取り付けておいてください。
壁はり中に吐水口が傷つけられ、水漏れの原因になります。

これで壁をはる前の作業は終了となります。ボックスや水栓本体の養生にも配慮ください。未施工部品は壁をはったあとの作業再開まで大切に保管しておいてください。

A6 壁はりと穴あけ

右図の寸法で壁に穴をあけ、壁をはりつける。

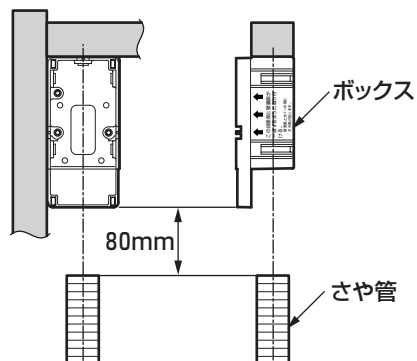
R4以下
60^{+5}_{0}
125^{+5}_{0}

以後の作業は 6-5 － 7 へお進みください。

B『さや管』(内部樹脂管の更新性あり)の場合

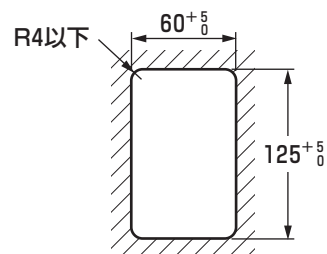
B3 さや管の敷設

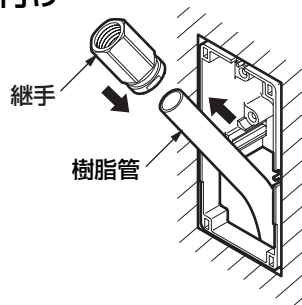
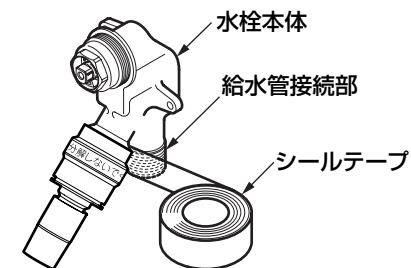
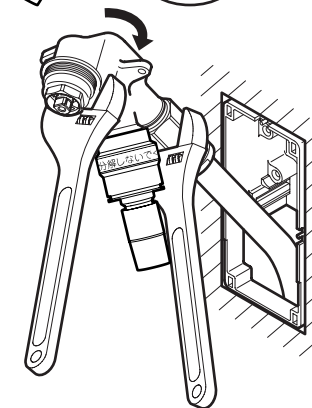
ボックス下端から約80mmのボックスセンター位置にさや管を敷設する。

注 意

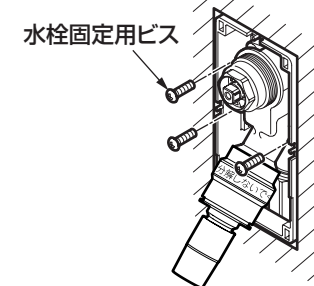
さや管は所定の位置に敷設してください。
水栓本体が取り付けできなかったり、水栓本体に無理な力が生じて破損し、水漏れの原因になります。

これで壁をはる前の作業は終了となります。ボックスの養生に配慮ください。
未施工部品は壁をはったあとの作業再開まで大切に保管しておいてください。

B4 壁はりと穴あけ

右図の寸法で壁に穴をあけ、壁をはりつける。

B5 樹脂管の通管と水栓本体の取り付け

①樹脂管を上流側(ヘッダー側)から通管してボックスから室内側に引き出し、継手を接続する。

②水栓本体の給水管接続部にシールテープを巻く。

③水栓本体を継手にねじ込む。

④水栓本体をボックスに収納し、水栓固定用ビス(3本)を締め付けて、水栓本体をボックスに取り付ける。

注 意

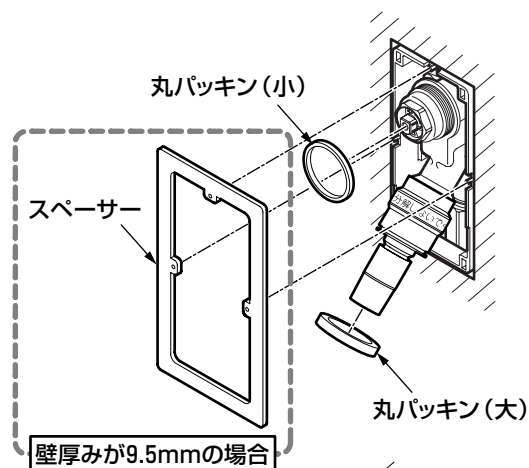
- **水栓本体はガタツキがないように強固に取り付けてください。**
  ガタツキにより破損が生じ、水漏れの原因になります。
- **水栓固定用ビスを締め付けるときは、水栓固定用ビスを壁裏側に落とさないように注意して締め付けてください。**

B6 耐圧検査

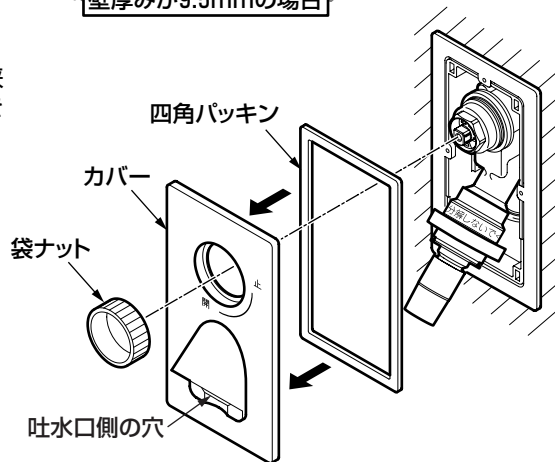
「6-3 − A5 耐圧検査」と同じ要領で耐圧検査を実施する。

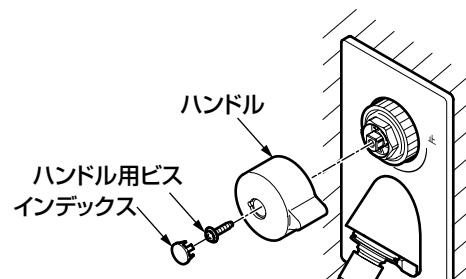
以後の作業は 6-5 − 7 へお進みください。

7 カバーの取り付け

①丸パッキン(小)をバルブ側に、丸パッキン(大)を吐水口側にそれぞれ取り付ける。

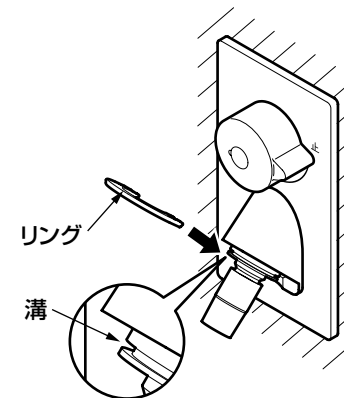
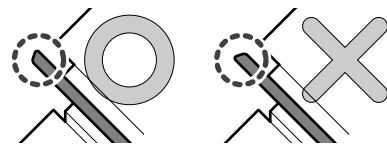
②壁厚みが9.5mmの場合は、スペーサーを取り付ける。

③カバー裏面に四角パッキンを挟み、吐水口側の穴からカバーをはめ込み、取り付ける。

④袋ナットを手締めでねじ込む。

8 ハンドルの取り付け

ハンドルを差し込み、ハンドル用ビスをねじ込んで、インデックスを取り付ける。

9 リングの取り付け

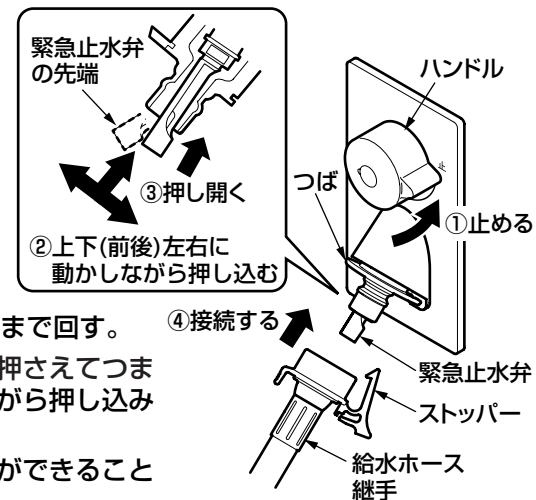
リングの方向に注意して、溝にリングを取り付ける。

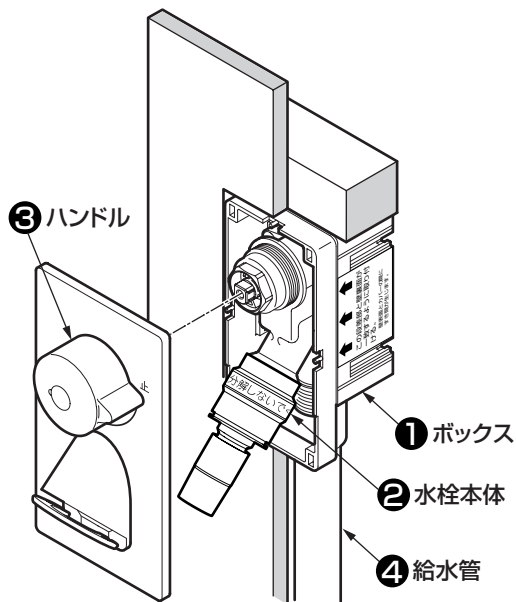
注意

リングの方向に注意してください。

7 使用上の注意

この商品は緊急止水弁機構を搭載しております。
以下の内容をお読みいただき、お客様に内容をご説明ください。

【緊急止水弁機構】
洗濯機などの給水ホースに接続されている市販の給水ホース継手が外れても、水圧とばねの力で水を止める機構です。
この緊急止水弁は水圧がかかったままですと、給水ホース継手を接続しにくくなりますので、以下の要領で給水ホース継手を再度接続してください。

①ハンドルのレバーを「止」の位置まで回す。
②緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下（前後）左右に動かしながら押し込み水圧を逃す。
③緊急止水弁を容易に押し開くことができることを確認する。
④給水ホース継手を接続する。
⑤給水ホース継手のストッパーがつばに引っ掛かっていることを確認する。

8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶ボックスのガタツキはないですか？

→ 6-2 ー 2「ボックスの取り付け」参照

❷水栓本体のガタツキはないですか？

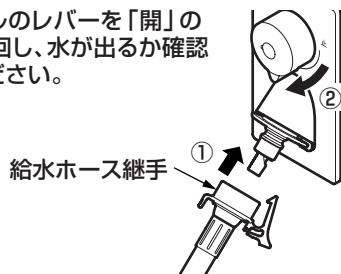
→ 6-2 ー A3「水栓本体の取り付け」参照
→ 6-4 ー B5「樹脂管の通管と水栓本体の取り付け」参照

❸ハンドルのガタツキはないですか？

→ 6-5 ー 8「ハンドルの取り付け」参照

水出し確認

①洗濯機に付属の給水ホース継手を接続後、配管部の元栓を開けてください。

②ハンドルのレバーを「開」の方向に回し、水が出るか確認してください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❹給水管の水漏れはないですか？

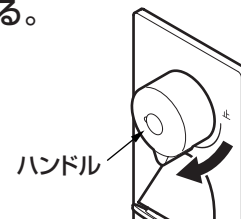
→ 6-3 ー A4「給水管の接続」参照

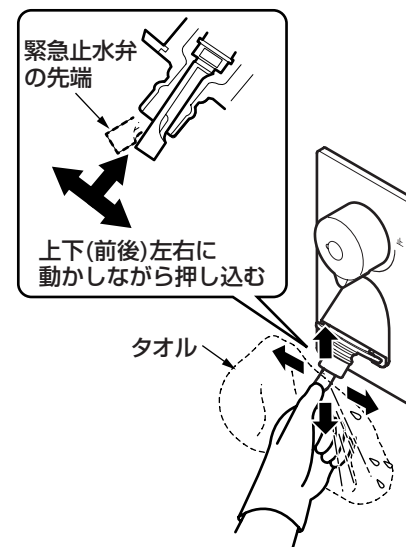
→ 6-4 ー B5「樹脂管の通管と水栓本体の取り付け」参照

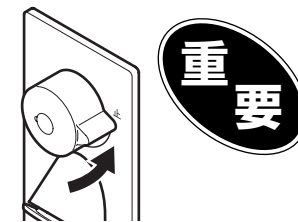
9 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行ってください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓を開ける。

2. ハンドルを「開」方向いっぱいに回す。

3. 器具本体および配管内の水を抜く。
   緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下（前後）左右に動かしながら押し込んでください。

> 緊急止水弁から水が出たあと、吐水口から空気を吸い込むことにより配管内の水を抜きますので、しばらく緊急止水弁を開いたままにしてください。
> 目安として一般の配管長（10m以内）では、30秒程度で水が抜けます。

4. 水抜き完了後は、必ずハンドルを「止」の位置まで回す。
   （水が出ない状態）

重要

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。